



ロータリー：
変化をもたらす

Rotary



■ ガバナー月信 ■

Vol. **11**

2018. 5月号

GOVERNOR'S MONTHLY LETTER



フィリピン奉仕活動(第10G三郷RC)

国際ロータリー第2770地区事務所

〒330-0063 埼玉県さいたま市浦和区高砂1-2-1-116 エイペックスタワー東館1階

TEL : 048-827-0022 FAX : 048-827-0011

E-mail : ri2770@ri2770.com URL : <http://www.ri2770.com>



「青少年奉仕月間」に因んで

2017～18年度 ガバナー
国際ロータリー第2770地区
ガバナー 大貫 等（上尾西RC）

青少年奉仕が新世代奉仕に変わり、また青少年奉仕となって4～5年になりますが、名称はどうあれ皆様のクラブでも、将来ある若者達とは活発に交流が図れていることと思います。青少年と言っても漠然としていますが、ご承知の通り12歳から18歳までのインターアクト、18歳から30歳までのローターアクト、その間の15歳から19歳を対象とした青少年交換プログラムがあり、更に高校生から30歳を越えてのライラ、また解釈を広げるとすれば、財団奨学生や日本独自の米山奨学生も青少年の対象となり、知らず知らずに皆様はロータリーを通じて彼らとは関わりを持ち交流をされていると思います。

これからの世界を担ってもらう若者達に、我々が代々引き継ぎ築いてきた世界を、責任を持って更なる進歩をさせながら継承してもらえる若者達を育成する目的がそこにはあります。若い時から他人を思いやる心、他人のために何か良いことをしてあげたいという気持ちを育み、その思考能力に基づいて、世相にあった判断力、決断力そして勇氣ある行動力を持ち備えた若者を育てる目的で考えられたプログラムが、この青少年奉仕です。私達にとって、この奉仕は決して難しいことではありません。より多くの若者と交流し会話をし、お互いの考えを伝え解り合うことです。そして行動を共にすることです。このプログラムを活用していないクラブの皆様は是非参加し、多くの若者と交流を図ってみて下さい。そして皆様の体験を彼らに話してあげて下さい。若者たちは、皆様のお声掛けを持ち望んでいます。私も「ロータリーの友」3月号で、「ガバナーのロータリーモーメント」の欄に記載させて頂きましたが、ロータリアンとして大変感動する経験が出来るはずです。

さて前回の規定審議会で、ローターアクターはロータリアンにもなれるという「二重会員」が承認されました。これからのロータリーは、もっとローターアクターと共に活動しようというメッセージなのかと感じています。ローターアクトは1968年、米国ノースカロライナ州で誕生し、今年でちょうど50周年を迎えます。現在世界184の国と地域に、1万のクラブと25万を越えるアクターがいます。ローターアクト活動は、地元や海外で持続可能な変化を生む活動、地元異業種やリーダーとの交流、リーダーシップ研修を通じて職業人としての技術を磨く、世界中に友人を作る、同時に国際大会や各種大会への参加、「ロータリーグローバルリワード」の活用など様々あり、これはロータリアンと同様だということが解ります。そのため次年度からインターアクトクラブとローターアクトクラブにもロータリークラブ同様に、それぞれ「ロータリー賞」が設けられました。彼らと共に活動する例として、地区内で大きなイベントを企画した場合、ネットに詳しいアクターの力を借りて、イベントのウェブサイトのデザインやコンテンツを決めてもらう、また補助金を使つての「疾病予防と衛生」や「基本的教育と識字率向上」などでは、ロータリアンが主導しながら、小さな子ども達への予防教育や学習はアクター達ということも考えられます。アクター達はとても前向きで、やればできるという精神の持ち主だと感じます。このことは、知識や経験豊富で凝り固まったロータリアンにはないものです。若者達を小さいときからボランティアに馴染ませ、その心を育て、アクターとなり我々ロータリアンと共に活動して貰えるような社会環境を地域社会で作っていく事は、とても大切かと思います。

今ロータリーでは、「志を共にする他団体、外部団体と共に行動しよう」と謳っています。これからはアクター達のパワーも取り込み、彼らの意見を取り入れ、新しい遣り方での奉仕活動を共に考え、共に活動することも一つのアイデアかと思っています。是非「ロータリー：変化をもたらす」「新たな行動 新たな感動」を味わって頂けるきっかけとなるよう心より願っています。



第5グループ IM報告

第5グループ ガバナー補佐

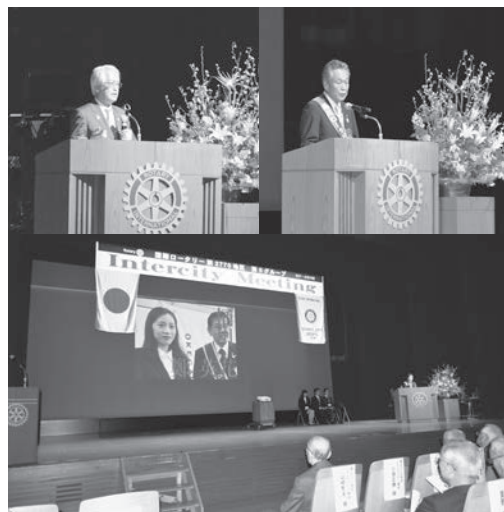
池田 遙晃 (桶川RC)

「奉仕の理念」を实践しよう～日本のロータリー100周年に向けて～と題して、2月15日(木)桶川駅前「桶川市民ホール」において、インターンシティミーティングを開催致しました。

講師に日本のロータリー100周年実行委員会・ビジョン策定委員会委員長、本田博己様(前橋RC・パストガバナー)をお招き致しました。

ロータリーの目的は「奉仕の理念」を奨励し、育むことの一点であります。

「奉仕の理念」がロータリーの核心を示す言葉であるなら「奉仕の理念」の意味がわかれば、ロータリーの理念が容易に理解されるはずです。ロータリーは基本的には職業人の集まりですから「奉仕の理念」は先ず、自分からの職業で発揮されることになります。



自らの職業のサービスレベルを高め、社会に奉仕することを、ロータリアンに求められます。

この「奉仕の理念」を自らの事業に正しく適用・実践すれば顧客に支持信頼される企業に成長することができます。

「奉仕の理念」を適用することは自分にとって何を意味するのか?という問いに答えられるようにすることが、この度のIM開催の目的でありました。

1920年に日本で初めてのロータリークラブである東京クラブが誕生して、2020年の東京オリンピックの開催年に100周年を迎えます。

日本のロータリーの将来の方向性を定めるビジョン策定が求められますので、私達ロータリアンは100周年をどのように迎えるのか問われています。

日本のロータリーの現状と課題を明らかにして、日本のロータリアンの合意を形成しながら、世界の共通の言葉である「奉仕の理念(The Ideal of Service)」の実践によって世界のロータリーと共調できるビジョン作りが急務であるという講演でありました。

記念講演前のプログラムとして、次の通り発表がありました。

①米山奨学生4名による体験発表 ②“END POLIO NOW”の現状と今後について ③各クラブ会長8名によるクラブのメイン事業報告
懇親会では講師の本田博己様を交え、ロータリー情報の交換等により、成果を収めました。





2017～18年度 第11グループ INTERCITY MEETING

第11グループ ガバナー補佐
熊井 初雄（鳩ヶ谷RC）

2018年2月17日に川口駅東口、フレンディアにおいて、11グループ インターシティミーティングが川口市長 奥ノ木信夫様、国際ロータリー第2770地区 ガバナー 大貫 等様、始め多くの来賓の皆様のご臨席を賜り無事に開催出来ました事、心より御礼申し上げます。又、11G各クラブの会長幹事様、IM実行委員の皆様のご協力とご参加頂きました会員の皆様のご支援を重ねて御礼申し上げます。



会場に入りまして目に付きますのが、大きな傘と、幟ですが、これは、11G IMに欠かせない出し物となって来ております、埼玉ゆずクラブさんによる、ロータリー最大目標のポリオ撲滅チャリティー呈茶で有ります。和服でお迎えしたゆずクラブさんの本格的なお点前を堪能していただき、ポリオ撲滅にご協力お願い致しました。

今年は、昨年のIMから本日までの一年間8クラブの皆さんのロータリー活動を会長さんによる8クラブの特色ある奉仕活動、親睦活動をそれぞれ発表して戴きました。他クラブの活動、奉仕を見聞する事によって、自分のクラブの今後の参考にも成ったのではではないでしょうか。



それに加えて「おしえて、ガバナー」として、RI、地区、又ガバナーに聞きたいこと、言いたい事を大貫ガバナーにお答えして頂き今後のロータリー知識向上に努めるためと、今年度の地区テーマ「新たな行動、新たな感動」にのっとりコーナーを設けました。ガバナーのご苦勞さ、ポリオペットボトルキャップの費用対効果等の質問にガバナーの適切なお答えが印象的で大変好評でした。



第二部は、志ネットワーク塾長上甲晃氏を迎え、「志を教える 松下幸之助の“ひとづくり”」のテーマで講演願いました。松下電器、松下政経塾、と松下幸之助翁と直接たずさわった貴重な体験談と、上甲氏の体験談がお聞き出来ました。この講演を参考にして戴き人作りを目指して行けましたらと思いました。

三部の大懇親会は立食形式にもかかわらず、多くの会員の皆様の参加を戴きました。鳩ヶ谷クラブの少し色っぽい、フラメンコが色を添えてIMの苦労話と、各会員の親睦をより多く深めたのでは無いでしょうか。

恒例の「手に手つないで」では、中田実行委員のポリオの幟を振ったソングリーダーの奮闘お疲れ様でした。

結びに、長時間に渡るIMでは有りますが、皆様にとって今後のロータリー活動に少しでも参考になりましたら幸いです。





第10グループIM

第10グループ ガバナー補佐

宇田川 初夫（三郷RC）

3月4日（日）に三郷市文化会館で、「私たちの街で、そして世界で良いことをしよう」をテーマに決め、2017-2018年度国際ロータリー第2770地区第10グループのインターシティミーティングを開催しました。年度末のお忙しい中、大貫ガバナー、部門委員長の皆さん、ガバナー補佐の皆さんにご出席いただきまして、142名の登録を頂きました。心より感謝申し上げます。

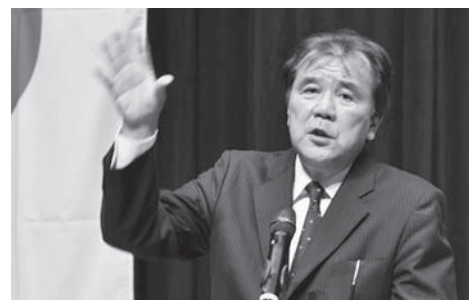


イアンH.S ライズリー会長のIRテーマ「ロータリー：変化をもたらす」は奉仕活動で人々に変化をもたらし、人々の人生をより良くし、各ロータリアンが喜びと感動により充実したロータリーライフを過ごすことであると思います。今回のIMがさらに良いきっかけになったと思います。



IMでは、大貫ガバナーよりお祝いのお言葉とクラブを越えての知り合いを広め、テーマに沿って学んで頂き、お互いの情報を交換し、大いに語り合ってくださいとごあいさつを頂きました。

お忙しい中ご出席を頂いた三郷市長、木津雅晟様より三郷市が推進中の「日本一の読書のまち」の後押しとなる図書館備品の寄贈や寄付、小学生絵画展の開催など三郷市内のロータリークラブへの感謝の言葉を頂戴しました。松伏町長、鈴木勝様より松伏ロータリークラブによる八重桜の寄贈やペットボトル回収、デイケア施設への支援に対し感謝のお言葉を頂きました。





各6クラブの活動報告は会場の大スクリーンを使い、各クラブ2人～3人の代表が10分から15分くらいで報告頂きました。各クラブの特徴や思い、奉仕活動の喜びや感動が十分に伝わったと思います。

第2部前半の記念公演はサッカー指導者の清水秀彦様にご講演頂きました。3.11の東日本大震災で被災された時、避難所の校庭の片隅で子供たちがサッカーボールを蹴り始め、転んだりする姿にまわりで見ている人たちに笑いが起きた。このことでサッカーの底力や素晴らしさの講演頂きました。

後半ではクラシカルクロスオーバーのボーカリストkeiさんによるライブショーで癒される感動のひと時を過ごすことが出来ました。

第3部では第10グループのバスターガバナー藤田亘弘様に総評とご指導を頂きました。また急遽ご出席いただきました小林操ガバナーノミニーから宇田川ガバナー補佐らしいIMテーマですとお褒めのお言葉を頂きました。ボーカリストkeiさんに全員に歌が上手になる呼吸法トレーニングをして頂きました。

懇親会場は最後までイスが足らなくなるほどの大盛況でした。

IM開催に際してご協力をいただいた6クラブの会長、幹事、会長エレクトの皆様、事務局の皆様、ご支援ご協力をいただいた多くのロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。





Intercity Meeting 「スポーツによる地域再生」

第3グループ ガバナー補佐
柴田 覚（大宮南RC）

2018年2月22日（木）、さいたま新都心駅そばのブリランテ武蔵野に於いて、第3グループインターシティミーティングが開催されました。

小雨混じりの天候でしたが、ご来賓には清水勇人さいたま市長、大貫等ガバナー、中川高志ガバナーエレクト、小林操ガバナーノミニ、久世晴雅PDG、森田武司PDG、井原實PDG、2570地区からは茂木正ガバナーエレクト・渋谷健司次年度地区幹事、また同期の各グループガバナー補佐の皆様、各部門委員長の皆様にご臨席を賜りました。

第1部は日本体育大学理事長の松浪健四郎先生に「スポーツによる地域再生」のテーマで、講話を頂きました。スポーツ政策の第一人者であるだけに、聴衆を飽きさせない内容でした。最近のスポーツ事情を鑑みたとき、スポーツが地域再生に関わる大きなファクターになってきたことにより、ロータリーの関わる機会が、今後さらに増えると述べられた。

第2部はグループ内の交流を通じ、親睦を深めることに主眼を置き、第3グループ6クラブの会長皆さんに、奉仕活動内容と現況について発表して頂きました。その後、私と同郷の女性シンガーで、FMヨコハマのパーソナリティを務められているSinonさんによるミニライブ。吉幾三の「津軽平野」から入り、カーペンターズのヒット曲メドレーへ続き、アンコールが「Time To Say Goodbye」、彼女の歌唱力の高さとシルキーボイスに魅了されたひと時でした。

次年度はこの第3グループから中川ガバナーを輩出します。今回のIMでグループ内の親睦が深められ、支援基盤を固める良い機会となりました。グループ内に少しでも「変化をもたらす」ことができれば嬉しい限りです。





補助金管理セミナーについて

次年度財団部門委員長

水野 正男（上尾西RC）

平成30年4月17日

補助金管理セミナーは毎年、次年度の各地区委員会が本格的に稼働する前の2月に開催されています。今年は、大宮のソニック市民ホールにて2月27日（火）に開かれました。財団部門の補助金（VTT）委員会、地区補助金運営委員会、資金管理委員会が主催となり、社会奉仕委員会、国際奉仕委員会の応援を得て、3時間近いセミナーとなりました。主に地区補助金の申請手続き等を、次年度のクラブ会長・幹事・財団委員長に説明するものですが、各クラブより必ず担当者が出席しないと地区補助金が支払われないという厳しい条件があるため、例年各クラブよりほぼ100%の出席率となります。

次年度は、中川ガバナーエレクトの方針で、総額5万ドルの地区補助金特別枠を設定し、各クラブより2千ドルから1万ドルの海外・国内を問わないプロジェクトを募集することがこの補助金管理セミナーの目玉となりました。このプロジェクトは地区補助金のものであることから、地区で審査し決定するもの



です。採用の方針は、事業の持続・継続性（Sustainability）と公益性、そしてInspirationに溢れているか等々ではありますが、実際に選考基準がどうなるのかを見定めることは、容易なものではありません。すべてのプロジェクトが出揃うのは、当然、中川年度が開始される前になりますが、どのようなインスピレーションが登場するのか、大変楽しみにしております。



2017-2018年度ブライダル委員会 『第2回 ミニ友愛の広場』 報告書

ブライダル委員長

大塚 崇行（上尾RC）

2018年3月22日

靖国神社の桜の開花も前日に発表され、春の陽気を感じさせる3月18日の日曜日。2017-2018年度『第2回ミニ友愛の広場』が与野駅西口の『THE CROWN』にて開催されました。今回は今までの参加者からのアンケート意見を考慮して、1対1でのお見合いタイムを長くし、参加者が異性全員と長く話が出来形を企画してみました。お店の席数では20名が丁度と言う所でありましたが、申し込みが何と男性9名、女性11名で女性の方が2名多い状態ではありましたが、計った様に席数ぴったりの人数での開催となりました。今回の男性参加者はラッキーです！



間も話し続けていられるかと心配しましたが、そこで役立ったのが女性2名の余り席。カウンターのはじめに女性の待機席を設定したところ、お見合い中では話に夢中でなかなか箸が進まなかったところをこの20分でお腹を満たすことが出来る「もぐもぐタイム」が取れました。一方男性は2時間話しっぱなしですが、10分が終わり移動時間になっても話を辞めずに中々席を立たせてもらえない程に積極的に話していて、あっという間に2時間が経ってしまいました。そしてお見合いタイムが終わりすぐにリクエストカードに記入してもらい集計の結果、1組のカップルが誕生しました。



午後4時の開始時間に女性が2名遅れた状態で会が始まりましたが、1名が10分後、もう1名が20分後に到着し、始めから女性2人はお見合いタイムは待機でしたのでこれも計った様にスムーズな進行となりました。

今回のお見合いタイムは1人10分。テーブル席では隣との距離が近く話が干渉してしまうかと心配しましたが、参加者は全く気にならないようで、其々の席で話が盛り上がり、少し大きめに設定したBGMの音楽が聞こえないほどの熱気で、この時期に冷房のスイッチを入れたほどでした。しかし10分×11名で約2時



今回はフリータイムが全くないという普通の婚活パーティーではありえない形での友愛の広場でしたが、帰り際には多くの方から「楽しかった」「すごく良かった」等のお褒めの言葉を頂き、参加者アンケートでも「会場がこじんまりとしていたので一人ひとりと話しやすかったです」というご意見も頂きました。そしてその言葉通りに閉会後はカップルになった方もならない方も誘い合わせて二次会に繰り出して行きまして、これも今までにないことでしたので参加者がそれぞれに楽しい時間を過ごしていただく事が出来たのではないかと感じました。

第2回ミニ友愛の広場も参加者をお誘いいただいたロータリアンやコーディネーターの方々のお力があってこそ開催出来た事と感じております。ご協力を頂きました全ての皆さまに感謝を申し上げご報告とさせていただきます。



アンケート集計結果

2017～18年度		第2回ミニ友愛の広場		2018/3/18開催	
回収アンケート30枚					
大変満足	やや満足	普通	やや不満	不満足	
8	6	1	0	0	
大変満足	やや満足	普通	やや不満	不満足	
8	6	1	0	0	
見つけた		何ともいえない		見つからなかった	
3		9		1	
連絡先を交換した		話ができた		できなかった	
0		12		0	
高い	やや高い	普通	やや安い	安い	
1	4	10	0	0	
参加したい		考え中		参加したくない	
8		7		0	
日曜日	土曜日	平日	祝日	いつでも	
5	8	0	0	3	
大変満足	やや満足	普通	やや不満	不満足	
11	1	3	0	0	
男性				女性	
7				8	
20代		30代	40代	50代	60代
0		7	6	2	0

■頂いたご意見

メモが取りにくいので、最後に誰が誰か分からなくなる。(40代男性)

会場がこじんまりとしていたので一人ひとりと話しやすかったです。ありがとうございました。(30代女性)



地区チーム研修セミナー

次年度地区幹事

飯野 耕司（大宮RC）

2018年2月23日（金）

大宮ソニックシティ市民ホールにて行われました。

大貫等ガバナーより挨拶を頂きました。

本日は、ロータリーに対する情熱、熱意を感じまして、素晴らしい中川年度になるのではと思います。

ガバナー補佐や部門委員長は、中川GEとよく相談しながら年度計画を進めて下さい。

各委員長さんも、1人でやらないで下さい。委員会でやって下さい。



田中徳兵衛研修リーダー

次年度研修リーダーですがガバナーのやりたいことを力添えするのが、研修リーダーです。

世界大会へも参加してください。皆様と一緒に行きましょう。

皆様にいろいろ経験してほしいと思います。セミナーに関しては、社員の方や、ご家族の方にロータリーのことを語ってもらいたい。

中川ガバナーエレクト、次年度RIテーマ、地区運営方針が発表されました。

大宮パレスホテルで多くのパストガバナーや地区幹事や副幹事、大宮RCの皆さんの見送りを受けてサンディエゴへ出発しました。

サンディエゴで田中作次RI元会長の歓迎を受けて会議に臨み、GETSの内容をお話しされました。日本文化の紹介、カリビアンナイトのこと等もありました。

ハンブルクの2019年の世界大会は200人の出席をお願いしたいと思い宣言してまいりました。

バリーラシンRI会長とは、RIテーマをBE THE INSPIRATION（インスピレーションになろう）にしました。

それは、ガァーと行こうぜ！気合を入れて。もっと力強く活動しましょう。（インスピレーションの源は「ポリオ撲滅活動」です。）

RIでは、ロータリーが人道的活動における「持続可能性」を重視しています。

持続的なクラブの活性化、環境問題の改善、しっかり奉仕活動を行う。退会防止はクラブ会長の仕事です。すべてはクラブの為に。

地区活動方針を「すべてはクラブ活性化のために」一実り豊かな奉仕をめざして一としました。

RI会長賞がロータリー賞へ名前を変えました。

ロータリー賞はロータリーの戦略計画の優先事項を支えるために。



恵川一成様より「ロータリーの友」について活動方針、ロータリーの友の歴史を紹介されロータリアンの参考書としてロータリーの友を活用してもらいたいと話されました。

会長エレクト研修セミナー

次年度地区幹事

飯野 耕司（大宮RC）

2018年3月9日、10日に大宮ソニックシティ市民ホールにおいて、会長エレクト研修セミナーが開催されました。その報告をさせていただきます。

大貫 等ガバナーより挨拶を頂きました。

RIテーマは「BE THE INSPIRATION」、地区運営方針は「クラブ活性化のために」であります。

2日間宜しくお願い致します。



田中徳兵衛次年度研修リーダー

まずは会長エレクト就任おめでとうございます。

RIでは、会員増強、奉仕活動を活発にして、寄付額を増やしたいとなります。ロータリーだから出来る活動をしてもらいたい。世界大会にも参加して下さい。「人間はなりたくなる」んですね。今年はチャンスです。

会長さんは是非トライして下さい。

知るということは何を知らなかったかを知ることです。研修へ出て、どんどん質問して、身につけてください。「世界を変えたいなら、まず自分を変えなさい」なんです。

中川高志ガバナーエレクトより「次年度RIテーマ及び地区方針」について講演がありました。

まずサンディエゴGETSの説明をされ、537地区からガバナーエレクトが集まってきました。RIテーマは「BE THE INSPIRATION」であり、地区運営方針を「すべてはクラブ活性化のために」にしました。（講演内容の抜粋は地区PETSの冊子16、17、18ページにありますのでご覧下さい。）

PETS冊子は会長エレクトがお持ちです。

ロータリーに関する危機管理について、浅水尚伸危機管理委員長より講義を頂きました。

危機管理にいかに対応していくか、ハラスメント対応、人種、宗教、等も考えて対応しなければなりません。相合傘等の例を出して話されました。隠ぺいについても嫌われることになります。



ロータリーの友よりのお願いとして次年度ロータリー友地区代表委員の恵川一成様よりお話を頂きました。ロータリーの友にはたくさん情報が載っていますので、是非毎月購読して頂きたい。

また、ロータリーの友の歴史をお話しされました。

その後、午後の部で各ガバナー補佐からGrの発表があり、地区目標の2770人になるように努力すると意見を頂きました。

広島・京都旅行

青少年交換委員

中川 富保子（三郷RC）

世界平和の架け橋に。

涙で顔がぐしゃぐしゃになっていた。えっ？どうしたの？と見渡すと皆、抱き合い思いを共感しながら、本当にこんな事があったのだと、こんな辛い事があったのかと、胸を詰まらせていた。

それでも、語り部の方の話に聞き入っていました。

これは、原爆ドーム見学中の留学生達の姿でした。



当初、二泊三日の行程の中で、広島まで足を伸ばす必要があるのかと委員会で議論になりました。

原爆資料館のあまりにも生々しい物を見て留学生には、ショックは、大きすぎないのだろうか？

何を思うのか、理解できるのか、それより、京都、大阪辺りで綺麗な日本を満喫したほうがいいのかと。

でも、日本にしかない、この事実を彼らが知り、各国に持ち帰る事には一つの意義があるのだろうとの結論に至り、事前学習の中である程度の予備知識を持ち、見学するという、強硬なスケジュールを組み広島まで行く事にしました。

結果は大正解でした。

未来は、明るい。

若い学生達は、この思いを祖国に帰って伝え、平和への礎になって下さる事でしょう。

その後は、京都の剣舞体験、大阪のユニバーサルスタジオジャパンと、思いきり羽を伸ばして貰いました。

剣舞体験は、思い思いの衣装を見にまとい、日本人でも経験した事のないような本物サイズの刀を振り回し、かたの練習をしたり、構えたり、エイ、ヤーとの掛け声と共に、摺り足での移動と時代劇さながらの経験を頂きました。

この衣装には、個性が表れ、おのおのの雰囲気が出されていました。

最終日は、USJを堪能し、帰途につきました。

留学生達は、ロータリークラブやホストファミリー、お世話になっている人達へのお土産をしっかりと買っていました。口々に楽しかった。参加して良かった。ありがとう。との言葉が出てきました。

何と素晴らしい留学生だと感動のお土産を頂いてきました。

このプログラムにご支援とご協力を頂いていますロータリーの皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。ありがとうございました。





日韓青少年交流事業 30周年を迎えて

青少年育成・インターアクト委員長
針谷 裕一（幸手RC）

国際ロータリー第2770地区インターアクター28名が3月24日～29日の日程で国際ロータリー第3750地区にホームステイをして、インターアクターの相互交流や異国文化を体験して参りました。

これは、第2770地区、第3750地区で行っている日韓青少年交流事業であり、今年度で30年目を迎えました。政情不安等の要素があり例年より人数は少なかったのですが事故無く韓国での5泊6日を過ごせて安堵しています。

滞在期間中はホームステイ先のご家族の方とのふれあいの他、第3750地区インターアクターと合同で協議会・交流会、学校訪問が実施されました。

5泊6日は決して長いとは言えない日数ですが、このプログラムは6日完結という趣旨ではなく、この6日間での出会いをきっかけにして、これからお互いの交流(異文化間コミュニケーション)を深めていくことを重要な目的としています。実際、これまで多くの訪韓したインターアクターが、ホームステイでお世話になった家族の方々や第3750地区インターアクターとの交流を深め相互の文化、習慣等についての理解を深めています。今年訪韓したインターアクターにもぜひそうした交流を深めていくよう望みます。

10代という若い年代において異文化に直接接することは、彼らが今後歩んでいく人生において大いなる力になるものと信じています。今後40年、50年、100年とこのプログラムが続いていくことを願います。

第2770地区ロータリアンの皆様には、プログラム実施において多大なるご協力をいただきました。この場を借りてお礼申し上げます。どうもありがとうございました。



伝統工芸の伝承場作り

クラブ管理運営部門委員長
田原 春夫（蓮田RC）

タイの古都チェンマイから南西に300キロのミャンマーの国境に近い所に、北部山間民族のカレン族が住むオムコイ村があります。山麓からは道路事情が悪く四駆の車でなければ登る事が出来ません。荒れた道のりで2時間弱ほど登ると、ようやくその村に到着です。

この地域はケシの栽培が密に行われアヘンを精製しています。村の大人たちは子供に教育を受けさせる意識が無く、成長期の子供たちは深刻な薬物のリスクにさらされています。そこで現在の校長が手造りの校舎を造り里親として子供たち125名を引き取り小学校で人間らしい生活を送っています。

この度、蓮田ロータリークラブでは国際奉仕活動の一環として地区補助金（海外枠）を活用し伝統工芸（機織りや手工芸）の伝承場（職業訓練センター）を既存図書館の階下の土間にコンクリートを敷き建設しました。伝統工芸の伝承を小さい時から行い技術の向上を図ることにより、現金収入の少ない現況を脱却



するため、習得した技術で民族衣装やストール等の手工芸品を作成、展示し来訪者に見てもらい販売する場所ができました。卒業後も引き続き作業場や販売場所の確保ができ現金確保に貢献することが見込まれます。職業訓練センターを活用し将来自立に向かって役立ててほしいと願っています。

創立45周年記念式典・祝賀会報告

上尾西ロータリークラブ会長
片桐 勇（上尾西RC）

2018年3月28日に、午後2時より大宮パレスホテル4階ローズルームにおいて、上尾市長 畠山 稔様、上尾市商工会議所 会頭 神田 博一様、ガバナー大貫 等様、パストガバナー、地区役員をはじめとする多くの御来賓の方々のご臨席を賜り、開催できました。また第3480地区より姉妹クラブ締結30年となる台北稲江扶輪社様、第2520地区より友好クラブ締結11年となる大船渡ロータリークラブ様からも多数のご列席をいただきました。当クラブは、上尾ロータリークラブをスポンサークラブとして1973年3月28日にチャーターメンバー30名で誕生しました。現在の会員数は45名ですが、今でも5名のチャーターメンバーは健在でご活躍されております。

第1部式典の部は、オープニングで上尾高等学校吹奏楽部の演奏により御来賓の方々の入場となり「感性・感動・感謝」をテーマとして開式となり、会場には「45年間のつづり」を映像で振りかえこることでクラブの歴史を皆様と共有できるよう企画いたしました。

尚、記念事業といたしまして、上尾市緑化推進委員会へ寄付（ロータリーの森）、姉妹クラブ訪問、友好クラブ訪問、姉妹クラブ契約締結式、ロータリー財団寄付、米山記念奨学会寄付、45周年記念誌発行、を実施いたしました。

第2部祝宴の部では、第一部と同じく上尾高等学校吹奏楽部の演奏によりオープニングとなり、アトラクションとして舞踊とマジックショーが行われ、盛宴となり、最後に輪になり「手に手つないで」を歌い、盛況のうちに閉宴することができました。

最後に、ご参加いただきました皆様に支えられ盛大に式典、祝賀会を開催できましたことに改めて感謝申し上げる次第です。

これからも50周年に向けて、ロータリーの奉仕活動を通じて、会員同士の親睦を深め、国際親善や地域の社会奉仕活動に貢献できるよう活気あるクラブを目指していききたいと思います。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



鴻巣ロータリークラブ 50年を振り返って

鴻巣ロータリークラブ会長
津田 ひろみ（鴻巣RC）

式典当日は鴻巣市長原口和久様、国際ロータリー2770地区大貫等ガバナーをはじめパストガバナーの皆様、姉妹クラブである台南府城ロータリークラブの皆様、多くのご来賓の方にご臨席賜り、鴻巣ロータリークラブ創立50周年記念式典を開催する事ができました。

この50周年の節目に会長を務めさせていただくことに大変重責を感じると共に光栄に思います。

我がクラブは1968年に上尾ロータリークラブをスポンサークラブとしチャーターメンバー26名で誕生いたしました。

その後1976年に北本ロータリークラブを設立し1992年には鴻巣水曜ロータリークラブをアディショナルクラブとして設立しクラブの拡大にも励んでまいりました。

また、1997年には埼玉県立鴻巣高等学校にインターアクトクラブを設立致しました。

そして2007年には国際ロータリー第3470地区の台南府城ロータリークラブ様と姉妹締結し友好と奉仕の輪を広げてまいりました。

創立50周年記念式典を迎えるにあたり歴代会長をはじめ緒先輩ロータリアンの皆様が歩んでこられた半世紀に及ぶ数々の奉仕活動に深く敬意を表し、これまで我がクラブを育てて下さいましたロータリアンの皆様、会員、またご家族の皆様、そして地域の皆様、全ての皆様に心より感謝申し上げます。

創立50周年実行委員会発足後、クラブが一丸となって準備をしてまいりました。

その一つ一つの準備にこれまでの感謝の思いが込められております。

今後も鴻巣ロータリークラブの歴史や伝統をしっかりと受け継ぎ、継続事業を更に充実し創立100周年を目指し新しいことにも挑戦し新たな経験、喜び感動をもたらし奉仕活動、親睦活動に励んでまいります。

そして奉仕の理想を追求し世界平和を願い続けていきます。

今後どうか皆様方のご指導ご鞭撻をいただきますようお願いいたします。



学友の窓

2013-14年度 グローバル奨学生
徳星 達仁（大宮シティRC推薦）

ご無沙汰しております。2013-14年度グローバル奨学生にて大宮シティロータリークラブの推薦をいただき、英国ランカスター大学院で平和構築・紛争解決学を学んでいました徳星達仁です。

留学後、外務省管轄のODA実施機関であり日本最大の途上国支援機関である国際協力機構（JICA）にご縁をいただき、2016年12月よりアフリカのコートジボワールという国で駐在事務所員として勤務しております。

コートジボワールに赴任して早くも一年が経過しました。日本とは異なるアフリカの季候にも慣れ、公用語のフランス語はもっともっと上達しなければならないと日々痛感しつつも、なんとかフランス語での仕事も現地のスタッフと共に進めております。アフリカとはいえ、私が住んでいる首都のアビジャンはとも都会で、大きなビルやショッピングモール、各国のレストランが密集しており「西アフリカのパリ」とも称されています。生活に不自由はなく、おかげさまで体調も崩さず元気に過ごしております。



＜事務所から見えるアビジャンの景色。
高層ビルがたくさん建っています。＞



＜主要通りにそびえるロータリーの看板。ここは地元の人達にも「ロータリー交差点」との愛称で呼ばれています。＞

こちらでの仕事は、国家ガバナンス・平和構築分野のチームで現地国家警察の能力強化のプロジェクトなどを担当したり、事務所の総務経理・ローカルスタッフ人事・安全管理などのバックアップ業務なども幅広く担当しています。

下の写真は国家警察の人達と、新たな研修施設の設置場所候補地の視察に行ったときの様子です。彼らは彼らで、自分達の国を良くしていこうと一生懸命取り組んでいます。警察といえど、気さくで楽しい人達です。



大都会の首都をもつコートジボワールですが、過去の幾度もの内戦の影響がいまだに残っており、国家の分断により地方との格差は大きく、いまだに民族間のしこりが社会的・経済的・政治的に影響を及ぼしています。たとえば地方部では医療の環境が乏しいため妊婦や赤ちゃんの死亡率が極めて高く、また学校や教員の不足により十分な教育を受けられない子ども達もたくさんいます。さらには、内戦時の元兵士達と政府との軋轢や、不十分な警察機能など、国としての基盤を立て直さなければならない課題が山積しています。そのような中で私自身に何ができるのか、焦らず、しかししっかりと見定めていきたいと思っています。



<日本大使館のイベントでの
ブース出展の様子>

今はJICAでアフリカ・フランス語圏の業務経験を積みつつ、将来的には国連など国際機関で自身の能力を発揮できるよう、日々前向きに業務に取り組みたいと思っています。こうして現在の仕事ができているのも、ロータリアンの皆様のサポートをいただき留学が実現できたからに他なりません。改めて感謝申し上げます。

たまたま生まれた場所によって理不尽にも命を奪われたり、大切な人を失うなどの環境を強いられている人がいるという不公平な世界の現状を少しでも改善したいという思いは、留学前も今でも変わらず持ち続けています。私一人の力はほんの僅かであっても、そのわずかな力が世界のより良い未来に貢献できることを信じて、日々精進してまいります。

また帰国後、皆様にお会いできるのを楽しみにしています。日本は大変寒いようですが、どうぞご自愛くださいませ。今後ともよろしくお願いします。

公式訪問ご報告

大宮中央ロータリークラブ

平成29年9月19日

会長：坂 仁視／幹事：入江 信仁

平成29年9月19日（火）大貫ガバナー、第3グループ柴田ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催致しました。

例会前の懇談会では、会長、幹事兼会長ノミニーの二人でしたが、大貫ガバナーと柴田ガバナー補佐に、しっかりとしたクラブ運営について色々のご指導を頂きました。

クラブ協議会では、各部門委員長の活動方針、報告発表に対し、しっかりとしたご指摘やご指導を受けました。今後のクラブ運営に取り入れていきたいと思えます。

例会に於いては、大貫ガバナーよりR I テーマ、国際協議会でのお話、地区運営方針についての卓話を頂き、大変良く理解することが出来ました。

懇談会からクラブ協議会、例会、懇親会と長時間にわたって当クラブの為に時間をさいいただき、深く感謝申し上げます。



戸田ロータリークラブ

平成29年10月2日

会長：渡邊 正文／幹事：星 宏和

平成29年10月2日（月）大貫 等ガバナー、植野正裕ガバナー補佐をお迎えして公式訪問例会を開催いたしました。

当日は11時より、会長、幹事、会長エレクト同席にて、懇談会が行われ、クラブ活動等についてのご指導を頂きました。

懇談会の後、例会におきまして大貫ガバナーの卓話を伺いましたが、自己紹介に始まりRIテーマと地区運営についてのお話を伺うことができました。

その後のクラブ協議会におきましては、各委員長の報告に対して大貫ガバナーより講評とアドバイスを頂き、今後の活動に生かして行きたいと考えております。

最後に、お忙しい中貴重なお時間をいただきました大貫ガバナー、植野ガバナー補佐に厚く御礼申し上げます。



上尾ロータリークラブ

平成29年10月5日

会長：藤村 作／幹事：須田 悦正

10月5日（木）、大貫等ガバナーの公式訪問が開催されました。まず新会員入会式が行われ、大貫ガバナーにバッジを付けていただきました。

例会主題、大貫ガバナーの卓話では、ご自身の生い立ちや趣味、職業上のお話の後、ロータリーに「変化をもたらす」ためにRI戦略計画3つの優先項目、すなわち①クラブのサポートと強化、②人道的奉仕の重点化と増加、③公共イメージと認知度の向上が必要と説きました。またこの3つの優先項目の持続と、「地球の持続可能性」が重要で、二酸化炭素排出削減と地球温暖化防止の観点から植樹をお願いしたいとお話いただきました。

大貫ガバナー、池田ガバナー補佐、村山ガバナー補佐幹事、寺西地区副幹事の皆様、ご指導ありがとうございました。



上尾西ロータリークラブ

平成29年12月6日

会長：片桐 勇／幹事：水野 正男

大貫等ガバナー、池田遙晃ガバナー補佐、村山隆之ガバナー補佐幹事をお迎えし、公式訪問が開催されました。

例会に先立ち、会長、幹事、副会長、副幹事との懇談会では当クラブの現状を説明させて頂き、大貫ガバナーより会員増強について積極的に取り組むよう強く要請があり、できれば女性会員も増強するようにして会員数増強目標を達成するよう要望がありました。長期計画については、新しい人をメンバーに入れて多角的に計画を立て、50周年に向けてどんなクラブにしたいか目標を立てるようにと、的確なご指導を頂きました。

例会では、新会員の入会式には大貫ガバナーより新会員に襟章を付けて頂きました。プロジェクターを使って、RI及び、地区運営方針を解りやすく説明され、クラブ協議会では、各委員長の活動方針に対し適切なご指導を頂き、今後の活動に反映させていきたいと思ひます。

その後の懇親会にも第5グループ最後の公式訪問ということで大貫ガバナー、池田ガバナー補佐、村山補佐幹事にも出席頂き、会員一同と久し振りに歓談されたことと思ひます。

大貫ガバナー、池田ガバナー補佐には長時間にわたりご指導賜り誠にありがとうございました。今後もお身体に気を付けてご活躍されますことをご祈念申し上げます。



草加シティロータリークラブ

平成30年3月29日

会長：百瀬 皓／幹事：佐藤 竹幸

3月29日の大貫等ガバナー公式訪問例会は草加シティロータリークラブとして初めてのガバナー公式訪問例会を行うことができました。また、お客様を迎えた初めての例会でもありました。

草加シティロータリークラブは1月から例会を始めており、大半がロータリー未経験のメンバーばかりですので、「ロータリーとは」ということに優しく、わかりやすく卓話をいただきました。説得力のある話術により、会員全員が魅了され、圧倒されました。ガバナーの卓話を会員全員、よく理解し、今後のロータリー活動や奉仕活動に積極的に取り組める姿勢が深まった一日でありました。本当に大貫等ガバナーには感謝を申し上げます。

また、バッヂをつけてあげられなかったメンバー3名に、ガバナーよりバッヂをつけていただき、皆、喜んでおりました。



ロータリー財団

M・P・H・F(5)



長崎 登

(蔵)

平成30年3月7日

M・P・H・F(5)



本澤 繁

(さいたま中央)

平成30年3月22日

M・P・H・F(4)



岡田信昭

(越谷南)

平成30年3月23日

M・P・H・F(3)



吉村義史

(さいたま中央)

平成30年3月22日

M・P・H・F(3)



松尾康司

(蔵)

平成30年3月7日

M・P・H・F(2)
ベネファクター

伊藤秀穂

(川口シティ鳩ヶ谷)

平成30年3月27日

M・P・H・F(2)



飯泉繁雄

(越谷南)

平成30年3月23日

P・H・F



黒須英男

(大宮東)

平成30年4月3日

P・H・F



鷹野良一

(浦和北東)

平成30年3月14日

P・H・F



小泉 亘

(蔵)

平成30年3月7日

P・H・F



菅谷東治

(さいたま中央)

平成30年3月22日

P・H・F



中村直弘

(越谷南)

平成30年3月23日

P・H・F



荒井信宏

(越谷南)

平成30年3月23日

米山奨学会

米山奨学者メジャードナー (12)



杉田政男

(岩槻東)

平成30年3月28日

新会員



深井 栄一

(春日部西)

平成30年3月1日入会
(株)東栄石材
石材業

田村 慶太

(大宮西)

平成30年3月19日入会
SECエレベーター(株) 埼玉支社
エレベーター保守管理業

中村 高文

(川口中央)

平成30年3月19日入会
あけぼの歯科川口末広
歯科口腔外科医

西村 直樹

(越谷)

平成30年4月2日入会
三井住友信託銀行(株) 越谷支店
信託銀行

雨海 賢一

(大宮中央)

平成30年4月3日入会
新日本総合 税理士法人
税理士

訃報◆謹んでお悔やみ申し上げます。



河井 孝夫 様

(草加松原)

平成30年2月3日
享年 74 歳

訃報◆謹んでお悔やみ申し上げます。



長谷川 太郎 様

(春日部)

平成30年3月9日
享年 63 歳

訃報◆謹んでお悔やみ申し上げます。



阿部 淳一 様

(さいたま新都心)

平成30年3月10日
享年 70 歳

2018-19年度RI理事指名委員会委員選出の件

2018-19年度RI理事指名委員会委員の選出におきまして、
2003-04年パストガバナー田村 亮夫会員を指名委員に決定したことをお知らせします。

(2017-18年度 ガバナー 大貫 等)



田村 亮夫 (2003-04)
川口モーニングRC

また、補欠議員として2005-06年パストガバナー森田 武司会員を選出します。



森田 武司 (2005-06)
大宮北東RC

文庫通信 (368号)

<http://www.rotary-bunko.gr.jp>

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。

以下資料のご紹介を致します。

----- 文庫資料から (3) -----

- ◎「私がロータリアンになって学んだこと」 田中作次 2017 1p (D.2660地区大会参考資料)
- ◎「素晴らしいロータリアンであり続けるために」 渡辺好政 2018 3p (D.2790地区大会記念誌)
- ◎「奉仕の理想(理念)と職業奉仕論について」 渡邊宏二 2018 2p (D.2530月信)
- ◎「これからのロータリーを考えるー規定審議会より見えるものー」 三木明 2018 7p (D.2780地区大会報告書)
- ◎「『四つのテスト』に対する愚見」 岡田幹矢 2018 1p (D.2710月信)
- ◎「ロータリーの今日の課題」 鈴木秀憲 2018 17p (D.2530地区大会記念誌)
- ◎「会員増強の新しい考え方」 2018 2p (D.2650月信)
- ◎「会員増強の発展(3つの方法があります)」 加藤玄静 2017 1p (D.2660地区大会参考資料)
- ◎「会員維持のための12のポイント」 加藤玄静 2017 1p (D.2660地区大会参考資料)
- ◎「夢を語り、現在(いま)を刷新(ガバナー月信ロータリーコラム総集編)」 刀根莊兵衛 2017 67p

(上記申込先:ロータリー文庫)

ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15
黒龍芝公園ビル 3階
TEL (03) 3433-6456・FAX (03) 3459-7506
<http://www.rotary-bunko.gr.jp>
開館=午前10時~午後5時
休館=土・日・祝祭日

2017-18年度は
財団設立50周年

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース



ハイライトよねやま

2018.4.12

Vol.217

第3代よねやま親善大使が決定！

「第3代よねやま親善大使」には36人の学友・奨学生から応募があり、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考の結果、下記3人の方に決定しました。任期は2018年7月から2年間で、日本全国でロータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事でのスピーカーとしてぜひお声掛けください。親善大使に関するご連絡は当会事務局広報担当まで。



エンフボルド, ボロルトヤ
(モンゴル/2010-12/米沢RC)

モンゴル米山学友会創立理事。
2016-17年度第3450地区ツェツェーゲンRAC会長をつとめ、会長賞を受賞。在モンゴル日本国大使館勤務を経て再び来日し、現在はAI関連企業に勤務している。



アブデルアル, アハメド
(エジプト/2013-15/大東中央RC)

早稲田大学大学院博士課程在籍中。また、国際理解支援協会講師として、日本の子供たちへの異文化教育にも尽力。エジプト・アラブ文化を広めるイベントを企画するなど人集めに長けたアイデアマン。



李 英 愛 (イヨンエ)
(韓国/2002-05/札幌南RC)

北海学園大学非常勤講師。第2510地区と韓国第3700地区との通訳を10年間務め、日韓クラブの橋渡し役も多い。札幌ライラックロータリー衛星クラブ創立会員で、今年度幹事。第2510地区米山委員。

2018 学年度新奨学生オリエンテーションがスタート

2018学年度の奨学生は854人となりました。新規採用者602人、継続者252人(4月10日現在)、800人を超えるのは2012年以来のことです。国・地域別にみると、中国39.2%、ベトナム14.8%、韓国9.8%、マレーシア4.4%、台湾4.1%の順、また、プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が788人(学部:299人、修士:280人、博士:209人)、地区奨励奨学金16人、クラブ支援奨学金12人、海外学友会推

薦奨学金5人、海外応募者対象奨学金33人となっています。今月は各地区でオリエンテーションが開催されています(第2600地区のみ5月実施)。オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが出会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。研修を含めて1泊で行われる地区もあります。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。

寄付金速報 — 2017-18年度も残り3カ月 —

3月までの寄付金は前年同期と比べて5.7%増(普通寄付金:0.6%増、特別寄付金:8.5%増)約6,500万円の増加となりました。3月も好調に推移しており、皆様からの貴重なご寄付

に深く感謝いたします。今年度も残すところ3カ月弱となりました。これからは特別寄付金が主な寄付金収入となります。引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

“よねやま”がテーマのIM — 第2750地区 —

第2750地区多摩東グループのIM（ガバナー補佐：粕谷啓之氏、ホスト：東京調布むらさきRC）が4月5日、都内ホテルで開催されました。

テーマは「ロータリー米山記念奨学事業は、人材育成」。米山記念奨学会の財団設立50周年記念DVDが上映されたほか、基調講演を学友のジャンチブ・ガルバドラッハさん（モンゴル／1998-99／山形北RC）と、ジギャン・クマル・タパさん（ネパール／2008-09／横浜たまRC）が務め、二人の話に感銘を受けたロータリアンが即日多額のご寄付をくださったほど、米山学友の活躍が伝わるすばらしいスピーチでした。懇親会ではアトラクションと



して、コリーン・クリスティナ・シュムコーさん（アメリカ／2014-16／東京葛飾RC）が、会場を巻き込みながら三味線や篠笛の演奏を披露し、文字通り“よねやま”に特化した、全国でも珍しいIMとなりました。

ミャンマー米山学友会が初の年次総会を開催

2017年2月に設立された最も新しい学友会、ミャンマー米山学友会の総会が3月11日にヤンゴン市内で開催され、学友9人が参加しました。発足からの1年余、日本のロータリークラブの奉仕活動に協力するほか、田中作次元RI会長からの支援金を基金とした“田中作次奨学金”の創立運営な



ど、活発に活動しています。総会では役員改選が行われ、会長・副会長の続投と新任の役員が決定しました。創立時から会長を務めるタンシンナインさんは、「今年度も昨年からの奉仕活動を継続し、多くの学友が参加するよう力を入れていきたい」と、メッセージを寄せてくれました。

タイ米山学友会総会報告 — 新役員を選任 —

3月17日、タイ米山学友会の年次総会がバンコク市内で開催され、タイ学友17人と家族、タイ・日本のロータリアン、韓国学友会・関西学友会の有志など、計35人が参加しました。今回の総会では、4月からの役員改選が行われ、会長にペッチ・ポンポーさん（1992-94／豊橋南RC）ら、新役員が選任されました。第4代会長に就任するペッチさんは、「当学友会設立当時の趣旨である、奉仕活動と“日本との懸け橋”



を行動方針として努めてまいります」と、抱負を語りました。

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会
〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3F
Tel : 03-3434-8681 Fax : 03-3578-8281

E-mail : highlight@rotary-yoneyama.or.jp
URL : <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>
編集担当：野津(のづ)・峯(みね)

2017～2018年度 3月 会員数及び出席率報告

グループ	クラブ名	2017年 7月1日現在		当月末 会員数		増 減	目標 純増	通算 入会	当月 出席率
		内女性		内女性					
第一グループ	浦 和	115	1	111	1	-4	3	5	79.91
	浦 和 東	91	11	93	11	2	3	2	91.92
	浦 和 南	27	3	28	3	1	3	2	89.29
	浦 和 中	49	3	50	2	1	6	2	71.39
	浦和ダイヤモンド	20	4	21	5	1	3	1	92.96
	第1グループ計	302	22	303	22	1	18	12	85.09
第二グループ	浦 和 北	80	7	78	7	-2	8	4	77.86
	さいたま中央	44	2	45	2	1	5	4	82.22
	さいたまシティ	19	2	19	2	0	3	0	83.00
	浦 和 北 東	39	4	34	3	-5	3	1	87.25
	さいたま新都心	39	0	41	1	2	3	2	91.87
	第2グループ計	221	15	217	15	-4	22	11	84.44
第三グループ	大 宮	67	2	74	3	7	5	12	78.83
	大 宮 南	41	8	41	8	0	8	1	80.00
	大 宮 中 央	53	0	54	0	1	6	1	90.11
	大 宮 シ テ ィ	74	7	74	7	0	8	1	93.42
	さ い た ま 櫛	25	2	24	1	-1	3	0	80.00
	さいたま大空	15	6	16	6	1	2	1	59.62
第四グループ	第3グループ計	275	25	283	25	8	32	16	84.47
	大 宮 西	108	7	119	7	11	10	15	73.85
	岩 槻	23	2	24	2	1	5	1	71.88
	大 宮 北	19	1	19	1	0	3	1	82.22
	大 宮 東	45	0	46	0	1	5	2	81.39
	岩 槻 東	27	3	29	4	2	3	3	95.83
第五グループ	大 宮 北 東	15	2	15	2	0	2	1	76.70
	第4グループ計	237	15	252	16	15	28	23	80.31
	上 尾	36	0	37	0	1	3	1	91.89
	鴻 巣	23	3	28	3	5	5	5	71.42
	桶 川	20	0	23	0	3	5	4	92.98
	上 尾 西	43	0	45	0	2	3	2	85.20
第六グループ	北 本	5	0	7	1	2	3	2	88.57
	上 尾 北	26	0	27	0	1	2	1	89.34
	鴻 巣 水 曜	32	1	35	1	3	5	4	95.24
	桶川イブニング	19	1	21	1	2	2	2	84.22
	第5グループ計	204	5	223	6	19	28	21	87.36
	春 日 部	35	1	33	1	-2	5	0	65.33
第七グループ	杉 戸	42	1	43	1	1	5	3	73.49
	春 日 部 西	30	1	33	1	3	5	4	79.54
	庄 和	19	1	20	1	1	3	2	71.67
	春 日 部 南	32	2	30	2	-2	5	1	55.20
	春日部イブニング	25	1	25	1	0	5	0	84.00
	第6グループ計	183	7	184	7	1	28	10	71.54

グループ	クラブ名	2017年 7月1日現在		当月末 会員数		増 減	目標 純増	通算 入会	当月 出席率
		内女性		内女性					
第七グループ	幸 手	44	1	46	1	2	3	4	76.08
	蓮 田	53	3	53	4	0	5	4	89.10
	久 喜	48	4	51	4	3	3	3	82.31
	栗 橋	8	0	8	0	0	2	0	77.12
	幸 手 中 央	23	1	24	1	1	3	1	86.46
	第7グループ計	176	9	182	10	6	16	12	82.21
第八グループ	越 谷	96	4	101	4	5	4	8	74.30
	越 谷 南	48	3	51	4	3	3	3	77.34
	越 谷 北	52	3	53	3	1	3	2	79.00
	越 谷 東	46	3	46	3	0	3	1	82.49
	越 谷 中	19	1	20	2	1	2	2	92.87
	第8グループ計	261	14	271	16	10	15	16	81.20
第九グループ	八 潮	33	3	33	3	0	3	0	100.00
	八潮イブニング	24	0	25	1	1	5	1	94.67
	草 加 中 央	14	0	7	0	-7	5	0	42.86
	八 潮 み ら い	24	0	22	0	-2	6	0	75.65
	草 加 松 原	38	2	41	2	3	15	4	78.62
	草 加 シ テ ィ	0	0	20	6	20	0	20	81.67
第十グループ	第9グループ計	133	5	128	6	-5	34	5	78.36
	吉 川	16	0	17	0	1	3	1	74.24
	三 郷	33	4	32	4	-1	5	0	87.14
	三 郷 中 央	19	1	20	1	1	3	2	78.28
	三郷ウェンズデー	24	3	21	2	-3	2	0	82.54
	松 伏	14	3	16	3	2	3	2	96.85
第十一グループ	吉 川 中 央	0	0	20	3	20	0	20	83.00
	第10グループ計	106	11	126	13	20	16	25	83.68
	川 口	87	12	92	13	5	5	10	75.92
	鳩 ケ 谷	21	2	19	2	-2	3	0	77.78
	川 口 東	24	0	27	1	3	3	3	65.10
	川口/鳩ヶ谷武南	23	2	25	2	2	3	2	92.59
第十二グループ	川口モーニング	25	2	24	2	-1	5	0	77.60
	川 口 南	35	6	33	6	-2	3	0	68.24
	川口シティ鳩ヶ谷	14	1	15	1	1	2	2	85.77
	埼 玉 ゆ ず	10	10	10	10	0	2	0	77.50
	第11グループ計	239	35	245	37	6	26	17	77.56
	戸 田	54	5	56	5	2	4	3	72.41
第十三グループ	蕨	19	2	21	3	2	3	2	88.86
	川 口 西	28	6	26	5	-2	3	0	70.83
	戸 田 西	21	1	23	1	2	2	2	90.00
	川 口 北	20	0	20	0	0	5	0	58.10
	川 口 北 東	15	2	14	2	-1	2	0	62.20
	川 口 中 央	10	1	11	1	1	2	1	100.00
第十四グループ	川口むさし野	14	2	14	2	0	1	0	80.94
	戸田イブニング	18	1	15	1	-3	4	0	84.09
	第12グループ計	199	20	200	20	1	26	8	78.60
	地 区 合 計	2536	183	2634	199	98	289	196	80.80